



国際交流基金

<http://www.jpff.go.jp/>

Press Release

August 22, 2008 No.360

## ロシアから演出家・映画監督のキリル・セレブレンニコフ氏が来日

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)はこの度、今ロシアで最も注目されている演出家・映画監督の一人キリル・セレブレンニコフ (Kirill Serebrennikov)氏を8月21日(木)～9月3日(水)までお招きします。

セレブレンニコフ氏は、演劇における前衛的・実験的な作風が高く評価され、モスクワ芸術座を初めとする様々な劇場で演出家として活動しています。その才能は演劇界にとどまらず、2006年ローマ国際映画祭では、映画監督作品『被害者を演じて(Playing the Victim)』がグランプリを受賞。アートディレクターとして、今年9月から10月にかけて大統領府後援・文化映画庁共催で開催される演劇フェスティバル「テリトリー(Territory)」のアートディレクターも務めるなど、ロシアの現代芸術において幅広く活躍しています。(個人サイト:<http://kira.popular.ru/>)

初の来日となるセレブレンニコフ氏にとって、日本の現代芸術界との交流を通じて、今後につながるネットワークの構築の機会を提供するとともに、ロシアとは大きく異なる気候風土の中で育まれてきた日本文化・社会への理解を深めていただくことも大きな狙いとしています。この訪日中に得たインスピレーションが、次の創作につながることを期待されます。

### 【主な受賞作品】

- ・2004年 チェコ・カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭イースト・オブ・ウェスト賞:映画「ラギン(Ragin)」
- ・2006年 ローマ国際映画祭 グランプリ:映画「被害者を演じて(Playing the Victim)」

【主な演出作品】『テロリズム』、『森』、『ゴロヴリョフ家の人々』、『枕人間』(以上モスクワ芸術座)、  
『裸のピオネール少女』(現代人劇場)など。

### 【主な訪問先】

- 8月24日(日)・25日(月)世田谷パブリックシアター、東京芸術劇場等訪問、  
演劇・映画関係者との意見交換
- 8月27日(水) 写真家 荒木経惟氏、30日(土) 着物デザイナー 谷川幸氏との面談
- 8月22日(金)～28日(木)日本の現代社会文化事情の視察(渋谷・原宿等)
- 8月29日(金)～9月1日(月)日本の伝統文化、自然体験等(京都、高野山、熊野古道、宿坊宿泊)

貴紙・誌にてお取り上げくださいますようお願いいたします。取材も歓迎いたします。

### お問い合わせ

文化事業部 文化企画課 (担当)海老原 周子  
TEL:(03)5369-6059 FAX:(03)5369-6036 E-mail: Shuko\_Ebihara@jpf.go.jp

「地球を、開けよう。」

情報センター  
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1  
Tel:03-5369-6075 Fax:03-5369-6044